

北の大地の雪の中でも、すくすくと青い野菜が育っています！

新しい年を迎え皆様も張り切っておられることと思います。新年らしく明るい話題をと「魅力ある農業づくり」構築をコンセプトに取組まれている北海道樺戸郡浦臼町にある「神内ファーム21」さんの話題をお届けします。650haの用地の中に、平成11年7350㎡のセンターハウス(研修棟)昨年8823㎡のプラントファクトリーを建設され、現在稼動に入っています。弊社は蛍光灯利用人工光室および太陽光温室2室の栽培施設を納入させていただきました。ここでは施設園芸を利用した儲かる農業の技術開発(ハード・ソフト両面の栽培システム、販売形態、運営管

理)および農業後継者の教育を行なう施設として建設され、弊社施設ではサラダ菜・サンチュの栽培を展開されすでに出荷もされ体系構築へのデータ収集を進めておられます。農業を取り巻く課題は多いですが、じゃーどう展開していったら・・・という回答ははっきりしない状況ですが、ここでは、「これだったら儲かる」というシステムモジュール(生産から販売までの技術開発)を立証して、過疎地などの各地域に、そのノウハウを提供していきたいとのこと。各地域では行政との連携で、補助事業化あるいはリース化など負担の少ない導入しやすい形態構築を考

えてもらえればいい、立上までの支援は出来る範囲で考えていきたい、要は「魅力ある農業の確立と普及です」と責任者中村真常務は熱っぽく語っていただきました。モジュールが決まると、ここで研修もして貰えるようにと、ホテルを思わせる研修棟も整っており民間資本でこのような取組を始められているところに敬服いたします。雪の中、すくすくと青い野菜が育っていました。スタッフの笑顔も素敵で、描いた形がやがて展開され、後継者が続々と育っていく・・・そんな未来を暗示しているような気がしました。益々のご発展をお祈りいたしております。(神谷高裕)

雪に囲まれたプラントファクトリー外観

